

2019年6月14日

各 位

会 社 名 東洋合成工業株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 木村 有仁
 (JASDAQ コード番号 4970)
 問い合わせ先 取締役 経営企画部長 渡瀬 夏生
 電 話 番 号 03-5822-6170 (代表)

先端半導体向け感光材の生産能力を増強

東洋合成工業株式会社(代表取締役社長:木村有仁)は、先端半導体向け感光材製品の生産能力増強を目的とした投資を行い、供給体制を構築し、感光材事業の強化を図りました。

東洋合成工業の感光材事業は、半導体・ディスプレイの製造に使用されるフォトレジストの主原料となる感光性材料を主要製品として生産し、世界市場で高いシェアを獲得しております。

今般、半導体業界はIoTの拡大、5G通信への進化等による電子デバイス使用量の大幅増加、およびデータ通信量の増大によるDRAM・メモリーの需要増、AI・自動運転等の進化に伴うロジック半導体の需要拡大が中長期的に見込まれております。またディスプレイ業界においても、高精細・大面積化が進んでおり、製造に必要となる原料需要の拡大傾向が続いております。

今回の感光材事業の生産能力増強は、このような世界規模の需要の拡大に対応したもので、3ヵ年計画で実施しております。第1弾として2018年4月にディスプレイ向け感光材、先端半導体向けポリマーの生産能力増強を実施し、続いて今回、2019年2月に先端半導体向け感光材の製造設備増強を完了しました。さらに第3弾として現在、新工場の建設を進めており、2020年夏頃の完成を予定しております。これら計3回の能力増強施策により、従来比(2017年比)で約1.7倍程度の生産能力拡大を見込んでおります。

先端半導体向け感光材の生産能力増強の概要

所在地:千葉県香取郡東庄町宮野台1番51号

投資額:約12億円

稼働開始:2019年4月



能力増強した感光材製造設備